



5 ジェンダー平等を実現しよう



目標5

ジェンダー平等を実現しよう

目標内容は、ジェンダーの平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
ジェンダー・・・男の子だから黒ランドセル、女の子だから赤ランドセルといった社会的・文化的に形成された性別のこと。

世界の現状

世界では女性というだけで望んだ仕事に就けなかったり、十分な教育を受けられなかったり、望まない結婚や妊娠を強要されたり、様々な差別を受けるケースがあります。

SDGs⑤では、女性と女児に対するあらゆる形態の差別を撤廃することを目指し、また、性と生殖に関する健康とその権利を保障し、男性と同じように政治・経済・公職に参加できるようにすることを目的としています。

世界の男女別における、一日当たりの有償労働・無償労働の割合平均(分)



出典:OECD資料より恩納村役場がグラフ化

質の高い教育へのアクセス、政治・経済界への進出などにおいて、**ジェンダー平等の達成は、女性及び女児の地位向上にとって不可欠です。それは、性別にかかわらず平等に機会が与えられる社会に繋がります。**

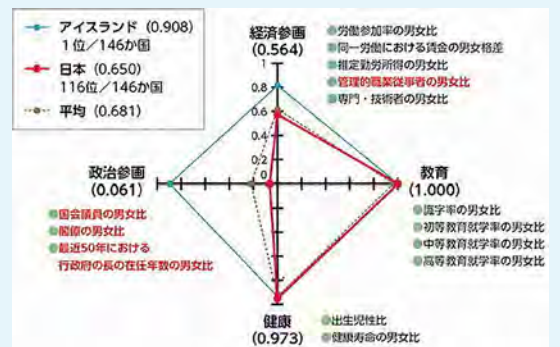
参考:国際連合広報センター

日本の現状

各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数2022(「教育」「健康」「経済」「政治」の4項目)によると、全146か国中、教育が1位、健康は63位、経済は121位、政治は139位となっています。総合スコアは116位となっています。

順位が低かった**経済、政治分野**については国としても今後**重点的に取り組むべき事項を定めて、女性の経済界や政治界への進出の促進に取り組んでいます。**

参考:内閣府 男女共同参画局「共同参画」2022年8月号



私たちにできる事!アンコンシャスバイアス(無意識の偏見)に注意する!

アンコンシャスバイアスとは「自分自身気づいていない、ものの見方やとらえ方の歪みや偏り」をいいます。ジェンダーに関して言えば、「家事・育児は女性がするべきだ」「組織のリーダーは男性の方が向いている」「女性は感情的になりやすい」などの、様々な場面でみられる偏見のことです。

「男・女らしさ」に捉われず、「自分らしく」いること・環境が重要



これらの事柄を認知の歪みと意識して、日頃から言動に注意することが重要です。

アンコンシャスバイアスの事例(内閣府資料より抜粋)

家庭	コミュニティ領域・職場領域	その他
家事・育児は女性がするべきだ	組織のリーダーは男性の方が向いている	女性は感情的になりやすい
共働きでも男性は家庭よりも仕事を優先するべきだ	男性なら残業や休日出勤をするのは当たり前だ	女性は論理的に考えられない
家を継ぐのは男性であるべきだ	事務作業などの簡単な仕事は女性がするべきだ	男性は気を遣う仕事やきめ細かな作業は向いていない

出典:内閣府資料

お問い合わせ:恩納村SDGs推進事務局(企画課内) ☎966-1201 ✉sunna.sdgs@gmail.com



恩納村のSDGs取組情報